

協働によるまちづくり ～地域づくり組織編～

市は、地区内の町内会・自治会や老人クラブ、PTA、NPO法人、商店街などのさまざまな団体が一体となってまちづくりを行う、「地域協働」の取り組みを進めています。今回は、地域協働に取り組んでいる「地域づくり組織」の活動を紹介します。
【問】市民協働推進課 ☎626-7535

城南地区地域づくり委員会

進化を大事に、発展するまちづくりを

城南地区地域づくり委員会は、平成23年度から「住みよいまち古都『城南』」をスローガンに、地域協働による活動をしています。

地区内には歴史的な神社や仏閣などの名所がたくさんあることから、これを地区内外の人に知ってもらおうと、「城南地区マップ・歴史文化編」を1年かけて作成。その後、地域の催事についてまとめた「城南地区マップ・暮らし編」も作成し、地区住民に配布しました。昨年にはマップに掲載したウォーキングコースに案内看板を設置し、コースを活用した散策会を開催しました。今年は、スマートフォンで看板を撮っている観光客からヒントを得て、看板にQRコードを追加。スマートフォンをかざすことで、その神社仏閣の歴史やウォーキングコースが一目で分かるだけでなく、盛岡弁でその建物の歴史や由来

を聞ける動画も見ることもできるようになりました。今年10月に開催した散策会では参加者のほとんどがスマートフォンを持っていましたが、QRコードの使い方を知らない高齢者も多く、散策会がちょっとしたスマートフォン教室に。和気あいあいとした雰囲気、新しい取り組みは非常に好評でした。また、QRコードを掲載したことで、看板の前で足を止める人の年齢層の幅が広がったことも、この取り組みによる新たな発見でした。

活動を重ねるごとに新しいアイデアを見つけ、それらを取り入れながら、今後も城南地区の魅力を発信していきます。



散策会の終点・盛岡天満宮の歴史を盛岡弁で語る「昔語り会」の様子



城南地区地域づくり委員会
金澤 卓司 事務局長 泉澤 力 委員長



盛岡弁で歴史や由来の説明を聞くことができます



八雲神社の例

渋民地区自治会連絡協議会

啄木を通じて、取り組みが発展

渋民地区は詩人「石川啄木」ゆかりの地が多数あります。渋民地区自治会連絡協議会は、平成24年度から「石川啄木と自然を活かした里づくり」をスローガンに、地域協働による活動をしています。

啄木の詩作は評価が高く、研究資料も多い一方で、その人間性は知られていない部分が多かったため、啄木の人間性について改めて一から調べることに。その結果、友人が多く、教え子からの評判も良かったことが分かりました。地区住民にも「人間・啄木」を知ってもらおうと、石川啄木記念館の協力を得て勉強会を開催しました。また、啄木に興味を持つきっかけになればと、当時食べていたものを再現し、ニジマスの洗いや啄木が好んだといわれるカボチャの天ぷら

らなどを入れた啄木弁当や啄木定食、啄木コーヒーなど、さまざまな商品開発につなげました。他にも、地元の杉の木で作った板に啄木の句を書き、地区内の小・中学校や駅、商店などに掲示。これまでに約200個を掲示しました。取り組みを通じて、若い世代にも、渋民が啄木の里であることを気付いてもらうきっかけになりました。

これまでもなんとなく身近にあった「石川啄木」を見つめ直すことで新しい発見があり、さまざまな取り組みに発展させることができました。これからも啄木と、啄木が愛した渋民の魅力を多くの人に知ってもらえるよう、活動を継続していきたいです。



啄木弁当

販売場所

- 啄木弁当※
ヤマゴン啄木店(渋民字泉田169)
☎683-1127 ※要予約
- 啄木定食※・黒豆甘納豆
ユートランド姫神(下田字生出893-11)
☎683-3215 ※要予約
- 啄木コーヒー・黒平豆パナコッタ
喫茶 緑青(渋民字鶴塚5-5)
- ニジマスの洗い
ユートランド姫神など



渋民地区自治会連絡協議会
櫻庭 直樹 事務局長 佐々木 由勝 会長